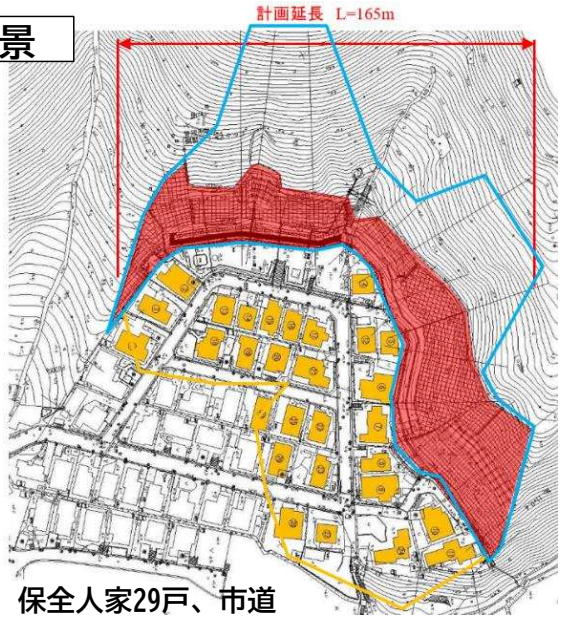
（事例）畑地区急傾斜地崩壊対策事業

効果発現日：令和7年8月10日
降雨状況　：連続雨量　　435㎜（8月 9日～12日）
　　時間最大雨量　57㎜（8月10日）
　　※八幡雨量観測所
発生箇所　：福岡県北九州市門司区畑
状　　況　：平成21年7月24日の大雨により斜面の崩壊が発生、急傾斜地崩壊対策事業で対策。
　　令和7年8月10日に平成21年と同等の雨が降ったが、法面対策により、人家被害「ゼロ」と効果を発揮した。

位置図

全景



保全人家29戸、市道

斜面崩壊状況
（H21年7月）

災害発生日：平成２１年７月２４日
降雨状況　：連測雨量　　３３４㎜（7月24日～26日）
　　時間最大雨量　４８㎜（7月24日）
　　※八幡雨量観測所

斜面崩壊状況→

斜面崩壊応急対策状況
↓

この状況のままだと人家に被害の恐れがある

事業完成後
（R4年3月）

対策事業完了後の大雨において
人家被害「ゼロ」